行事報告書

印刷日時：2020/03/23 14:17:20

	行事ID	129	事業所名	はぐくみ鶴見緑地教室	
作成日	令和元年9月11日(水)		計画作成者	阿部美穂	責任者	土門弘治

実施日	令和元年10月5日(土)	雨天時	決行	実施区分	実施
行事	実習「サイエンス シャボン玉作り」				
行き先		移動手段			
目的	自然の事物・現象に親しむなど具体的な体験を通して子どもの身体的な技能や豊かな心情を育みます。 観察，実験は、児童が目的を明確にもち、その結果を表やグラフなどに整理して考察することで、はじめて意図的、目的的な活動となり、意味や価値をもつものとなります。始めることから				
内容	なかなか割れないシャボン玉、静電気シャボン玉、水中シャボン玉など一般のご家庭にもある身の回りの物を使い、シャボン玉の秘密を探ります。				
参加人数	13人				
職員人数	9人				

行事報告ID	13	報告日	2019/10/06 (日)	報告者	阿部美穂

計画：Plan	評点
4	子供達が良く見ているテレビ番組で「割れないシャボン玉」を見た後、数名の児童からやりたい！という声があり、実際に出来そうな物かをyoutube等で確認し利用カレンダーに記載しました。
実行：Do	**評点**
2	ホワイトボードに今日は何時に何をするのかの予定は児童に分かるよう記載は出来ていました。準備物等が事前に用意出来ておらず、当日の用意となり13時～の開始と児童には伝えていましたがなかなか時間通りには実行出来ずスケジュール通りには動く事が出来ませんでした。
評価：Check	**評点**
3	１名はお昼寝をしていた為参加する事が出来ませんでしたが、その他児童は目の前の公園で目の行く範囲で順番に並ぶことで児童がバラバラにならず液を色々な物に漬けいろいろな形のシャボン玉が出来上がり楽しめていました。
改善：Action	
	イベントの用意等当日にスムーズに出来るよう職員で協力し合い話しあうこと、事前にきちんと成功できるのかどうかを把握しておくべきであった。時間のロスが多くなってしまった為職員一丸となってイベントを達成出来るようにする必要がある。
改善要望	

行事報告書

印刷日時：2020/03/23 14:17:20

	行事ID	129	事業所名	はぐくみ鶴見緑地教室	
作成日	令和元年9月11日(水)		計画作成者	阿部美穂	責任者	土門弘治

実施日	令和元年10月5日(土)	雨天時	決行	実施区分	実施
行事	実習「サイエンス シャボン玉作り」				
行き先		移動手段			
目的	自然の事物・現象に親しむなど具体的な体験を通して子どもの身体的な技能や豊かな心情を育みます。 観察，実験は、児童が目的を明確にもち、その結果を表やグラフなどに整理して考察することで、はじめて意図的、目的的な活動となり、意味や価値をもつものとなります。始めることから				
内容	なかなか割れないシャボン玉、静電気シャボン玉、水中シャボン玉など一般のご家庭にもある身の回りの物を使い、シャボン玉の秘密を探ります。				
参加人数	13人				
職員人数	9人				

行事報告ID	15	報告日	2019/10/10 (木)	報告者	甲斐美咲

計画：Plan	評点
5	普段から子どもたちがよく見ているテレビ番組で取り上げられていたり、学校の授業などから実験をすること自体に興味・関心を示す子どもも多く、全体を通して親しみやすく取り掛かりやすい活動だった点が良かったと思います。

実行：Do	評点
3	予定していたシャボン玉液が上手く作れずスケジュールが押してしまったり、天候の兼ね合いもあり、色々な形や、大きさのシャボン玉を創る事は出来ましたが、充分に満足いく体験をさせてあげられなかった点が残念でした。

評価：Check	評点
4	予定していたものとは違った形になってしまいましたが、活動を進めていく中で子どもたちが自身で不思議な感触を楽しんだり、連続して吹くコツを掴んだり、普段あまり関わることのないお友達と一緒に楽しむ事が出来ていた点は凄く良かったと思います。

改善：Action
終盤になり時間をおく事でシャボン玉液の強度が増す事が分ったので、前日までに用意しておき当日の朝に調整が出来れば良かったかなと思いました。また、実験が好きな子どもも多いのでシロップなどを混ぜて液を作るところから出来れば更に良い体験になるのではと思いました。

改善要望

行事報告書

印刷日時：2020/03/23 14:17:20

行事ID	129	事業所名	はぐくみ鶴見緑地教室		
作成日	令和元年9月11日(水)	計画作成者	阿部美穂	責任者	土門弘治

実施日	令和元年10月5日(土)	雨天時	決行	実施区分	実施
行事	実習「サイエンス シャボン玉作り」				
行き先		移動手段			
目的	自然の事物・現象に親しむなど具体的な体験を通して子どもの身体的な技能や豊かな心情を育みます。 観察，実験は、児童が目的を明確にもち、その結果を表やグラフなどに整理して考察することで、はじめて意図的、目的的な活動となり、意味や価値をもつものとなります。始めることから				
内容	なかなか割れないシャボン玉、静電気シャボン玉、水中シャボン玉など一般のご家庭にもある身の回りの物を使い、シャボン玉の秘密を探ります。				
参加人数	13人				
職員人数	9人				

行事報告ID	14	報告日	2019/10/07 (月)	報告者	鶴岡吟子

計画：Plan 評点	
4	年齢層に問わず参加出来るものとして良かった。
実行：Do 評点	
3	思っていたシャボン玉液を作る事が出来ず、スタッフが思っていたことを子供達に経験あげれなかった。
評価：Check 評点	
4	そのような中でも子供達の空想でシャボン玉遊びを楽しんでいる現状が良かった。
改善：Action	
	シャボン玉液を作ったことを思ったことは、シャボン玉液を作り置きをしておいて液の強度が増す事を知った。
改善要望	